

高齢者と障害者の自立のための

第42回国際福祉機器展 Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition 2015

会 期：2015（平成27）年10月7日（水）～9日（金）

会 場：東京ビッグサイト 東展示ホール（東京都江東区有明）

出展社数：522社・団体（日本461社・団体、海外61社）※見込み

開場時間：午前10時～午後5時 入 場 料：無料（登録制：当日または事前）

主 催：全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会

【開催内容】（予定）

第42回目を迎える国際福祉機器展 H.C.R.2015 では、高齢者や障害者の自立と社会参加の促進、家庭や福祉施設での介護の質の向上を目的に、杖・車いす・福祉車両、入浴・トイレ、住宅改造機材などの福祉機器、高齢者むけ食品や衣類など日常生活を支えるさまざまな生活用品を総合展示します。

また、福祉・介護・リハビリなどに役立つ最新情報を以下のようなシンポジウムやセミナー、特別企画などの多彩なイベントをつうじて、福祉関係者、企業関係者、そして一般の方々に提供いたします。

①福祉機器約20,000点を総合展示 **WEBにて来場者登録の受付を開始しました！**

②国際シンポジウム **WEBにて参加申込の受付を開始しました！**

i) テーマ「介護サービス従事者をいかに確保するか？」

～ドイツ、米国、日本の比較から今後の課題とその対策を考える～

わが国の介護サービス従事者数は2013年現在で171万人とされていますが、団塊の世代が後期高齢期に入る2025年までに、さらに約80万人を確保しなければならないといわれています。

現在、介護サービス分野への人材の参入を促進するため、他産業より低いとされる処遇の改善と介護人材の計画的な養成・確保などの方策の拡充が喫緊の課題とされ、官民あげて取り組みがすすめられています。社会経済状況も反映して、効果が出ているとは言い難い状況が続いており、都市部においては介護サービス従事者の不足が恒常化しています。

また、経済連携協定（EPA）に基づき、経済活動の連携の強化の観点から、平成20年度から一部のアジア諸国から介護福祉士候補者の受入れが行われていますが、施行から一定の期間を経ており、今後のあり方について様々な意見が出されています。

H.C.R.2015 国際シンポジウムでは、介護従事者など介護の専門職の役割機能、介護従事者の充足状況や処遇の現状と課題、介護従事者の確保策などについて、わが国が介護保険制度導入の参考としたドイツ、及び、移民労働者が多い米国の実情を理解し、今後のわが国の介護サービス従事者の確保策や介護サービスの充実方策について考える場とします。【日英同時通訳付】

ii) 日時：平成27年10月8日（木）13：00～16：40（予定） iii) 会場：東京ビッグサイト会議棟6F

iv) 参加者：高齢社会の課題や政策・制度に関心のある方であれば、どなたでも参加いただけます。

v) 参加申込：H.C.R.web サイト（<http://www.hcr.or.jp>）からお申込みください。

vi) 登壇者

a. シンポジスト：

①ドイツ／グリット・ブレセケ（Dr. Grit Braeseke）氏：

ヨーロッパ・ヘルスケア・リサーチ&社会経済研究所 サイエンス分野担当部長

②アメリカ／ロビン・ストーン (Dr. Robyn Stone) 氏：

米国リーディング・エイジ・センター事務局長、元ホワイトハウス副次官補佐（障害者・高齢者・介護政策担当）、元米国保健福祉省次官補代行

③日本（施設現場の立場から）／湯川 智美 氏：社会福祉法人 六親会常務理事、本会監事

④日本（研究者の立場から）／塚田 典子 氏：日本大学商学部教授、本会理事

b. チューター：

近藤 純五郎 氏 / 一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会理事長、弁護士、元厚生労働事務次官

③H.C.R.セミナー **WEBにて参加申込の受付を開始しました！**

福祉職、一般・福祉利用者・家族、企業関係者などを対象として、保健・福祉・介護をテーマに連日開催。

i) 一般、福祉サービス利用者・家族むけセミナー

- a. はじめての福祉機器 選び方・使い方セミナー～会期中に基本動作編、自立支援編、住宅改修編より10講座
- b. 高齢者むけの手軽な日々の食事
- c. 一般家庭における介護で腰痛にならないための基本技術
- d. 高齢者むけの住まいの種類と選び方

ii) 福祉職・介護職むけセミナー

- a. 福祉施設の実践事例発表～役立つ活かせる工夫とアイデア
- b. 福祉施設での感染症の知識と対応 ～ 知っておきたい感染症対策のポイント
- c. ユニバーサルでエコなまちの創生 ～ 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けて

iii) 企業関係者むけセミナー

- a. 障害者に対する差別の禁止と合理的配慮
～障害者雇用促進法の改正および障害者差別解消法の制定を受けて

④出展社によるプレゼンテーション

⑤H.C.R.特別企画

(1) 障害児のための「子ども広場」：

子ども用機器の展示、機器・療育・住宅改造などの相談、保育士が常駐するひとやすみコーナーなど。

(2) ふくしの相談コーナー

福祉機器や自助具などの相談コーナーを設置。

(3) 高齢者・障害者の生活支援用品コーナー

『いつまでも元気に働く「10のコツ！」展』を開催。関連グッズを展示・紹介。

(4) 福祉機器開発最前線

現在開発中の製品や新発表の福祉機器、介護ロボットなどのデモンストレーション・集中展示。

(5) アルテック講座 2015 (IT機器の福祉的活用講座)

携帯電話やスマートフォンなど身の回りにおけるテクノロジーの福祉的な利用方法についての解説・実演。

(6) 被災地応援コーナー

東日本大震災で被災した東北地方のセルブ（障害者授産施設）製品を販売。

その他にも、多彩なプログラムを実施予定。

◆各プログラムへのご参加について

～参加料等の条件や参加受付は H.C.R. Web サイト(www.hcr.or.jp)で順次ご案内いたします。

H.C.R. 2015 事務局

(財)保健福祉広報協会

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5F

TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798

<http://www.hcr.or.jp>

※注：内容や日程は予告なく変更する可能性がありますので、ご来場の際は最新情報をご確認ください。